



坂本 晴則
(路面電車沿線活性化協議会 副会長)

板垣 昭彦
(札幌市中央区長)

服部 彰治
(札幌大通まちづくり株式会社
取締役統括部長)



まちの資源再発見プロジェクト vol.8 まちのモトを振り返る

2010年の6月に第1号を発行してから、中央区内の各地区を特集してきた『まちのモト』。本号で全地区を網羅することを記念して、発行人の皆様が振り返りトークを実施!

—『まちのモト』が生まれるきっかけから、改めてお願いします。

坂本:『まちのモト』が生まれるきっかけになったのは、2010年の三吉神社の例大祭。それまでは、お祭りって町内会の人たちが全て企画していたのだけど、大通まちづくり会社を中心に、札幌市立大学の学生さんなど若い人が関わってくれて。

服部:例大祭の直会に初めて参加して、町内会の人たちから昔のまちのことを聞く中で、「この話は自分だけじゃなく、いろいろな人に知ってもらいたい」と思いました。まちをつくってきた人たちの話を、きちんと残しておかないといけなくなって。それでフリーペーパーという形で、本府地区特集号を作ることにしたのです。

板垣:1号を初めて見たとき、「これはいいぞ」と。元々私はテレビ

番組の『出役!アド街ック天国』のような地域密着型広報の中央区版ができないかと考えていました。市電も区の大事な地域資源として位置づけておまして、地元の方々の皆様に対してもっとPRしたいと思っていたので、市電と地域で活動している人を絡めて発信していけるのはいいなと。それで2号からは、区も発行元として関わることになったのです。

—印象に残っているページや出来事はありますか?

服部:4号の中島公園ページが、家族写真のようで、参加された方の笑顔がとてもいいですよ。

坂本:よくこれだけの人たちを一同に集めたな



と。毎回読むたびに、知っている人たちがたくさん出てくるのも楽しかったなあ。

板垣:それぞれの号に、まちづくりセンターの所長が登場するのもうれしい。私たちとしては、まちセンが地域のモトになっているという想いがあります。あとは、よく行くバーのマスターが出ていたり、私の好きな日本酒を置いている数少ない酒屋さんが出ていたり(笑)。一度行ってみたいと思っていたお店も出ていたので、発行時にすぐ見本誌を持って行きました(笑)。毎回、地域で活動されている方々が出演されているので、町内の方がポスターを見るために市電に乗った、という話もよく聞きます。

—改めて見えてきたまちの魅力とは?

坂本:自分は幼稚園の頃から市電に乗っているのですが、沿線の変遷をずっと見てきました。正直寂しい気持ちになっていた部分もあったけど、『まちのモト』ができたことで、そこで活躍している人たちのことを知って。市電沿線の地域に、表面を見ただけではわからない人の活動や想いのあることがわかって、うれしい気持ちになりました。

服部:5号の座談会がきっかけで東地区の秋祭りが復活し、東北地区には開拓史まちづくり実行委員会が生まれました。『まちのモト』が本当にモトになっていることを体感して、まちにはそういう新たな人のつながりが必要なんだなとも実感しました。人がつながるきっかけがあると新しい展開が生まれて、それにまちがどんどん反応していく。だから面白いんですよね、まちって。



板垣:まちの「モト」って、歴史であり建物であり、いろいろあるのだろうけど、やっぱりメインは人。古くから住んでいる人たちと新たに仲間入りした人たち、両者が融合することで、新たなまちの

魅力ができていく。そこをうまく『まちのモト』は発信できていきますよね。

—ありがとうございます。それでは最後に、今後まちがどのようになっているってほしいかを。

坂本:1号で「昔は札幌ってパレードがたくさんあった」という話が紹介されていたでしょう?自分もよく紙吹雪をまいていたんだけど、やっぱりパレードってウ



キウキするんだよね。そういう心躍るような出来事がたくさんある、賑やかな雰囲気のあるまちにしていければいいなあ。

服部:さっき家族写真って言いましたが、まちの家族ってあると思っています。いろいろな立場の人が横につながるだけで、様々な活動に発展していく可能性がある。その横のつながりを、まちセン所長も含めてサポートしていけると、中央区ってもっと楽しいまちになるのではないかと。あとは、もっと地域の人とつながりをつくっていききたいですね。今年は住んでいるところの町内役員もするので、町内会としても、何か面白いことをしていけたらいいなと思います。

板垣:中央区って、札幌の歴史そのもの。古いものを大事にすることで、新しいものもできていくような、そんなまちになればいいなと思います。あと、観光に来た方が『まちのモト』を見て、まち歩きをしてくれたらいいなと。中央区全体が滞在型の観光名所になれば素敵ですよ。

大通公園まちづくりセンター
札幌市中央区北1条西9丁目
(リンクージュプラザ1階)
TEL 011-251-6353 8:45~17:15

まちセンINFO

地域の方々の活動の拠点となるのが「まちづくりセンター」。地域の方々の活動がうまく進むよう支援したり、必要な情報を収集・提供したりしている。その他にも、地域で活動する団体をゆるやかに結びつけた「まちづくり協議会」の設置・運営のサポートや、身近な所では住民票などの諸証明の取り次ぎサービスも。詳しくはホームページを見てみよう。
<http://www.city.sapporo.jp/shimin/jichi/>

地域の方々が
行う活動や
行事の支援などを
しています!